

□ 数理学 (八門法) □

★ 五常元法 (八門法) 【とう陀型】

	木(龍高・玉堂)17	
水(車騎・牽牛)48	火(貫索・石門)78	金(禄存・司禄)21
	土(鳳閣・調舒)38	

北方：(龍高・玉堂) 17 点
 東方：(禄存・司禄) 21 点
 中央：(貫索・石門) 78 点
 南方：(鳳閣・調舒) 38 点
 西方：(車騎・牽牛) 48 点

■ 丁火の守護神 ■

丁火は灯火(ともしび)、蠟燭(ろうそく)の火を象徴とします。よって、丁火にとってもっとも必要な存在は蠟燭の火源であるロウであります。十干に置き換えると甲木であります。自然界では丁火は松明(たいまつ)の火です。松明が燃えつづけるには、薪を樹木のあるところから伐採してくる必要があります。その役目をなすのが、斧である庚金であります。

丁火は、甲木と庚金がバランスよくあることが、宿命を生かせる道であります。

丁火にとってもっともいやな存在が雨であります。よほど強い松明でないと、雨で消えるか、水が水蒸気爆発してしまいます。その場合、戊土、己土で癸水を抑える必要があります。

丁火は焚き火とするか星とするかの違いです。身強は焚き火として役目を発揮します。身弱は星として役目を発揮します。身弱が世の中で力強く生きようとするとな滅火となり運命の寿命が短くなります。

基本「丁火」は木性によって火性が燃え続けることができます。持続力が生まれます。木性の無い丁火は運気の持続力に限界が生まれます。

春は木性と金性です。木性の火源と金性で木性を刈り取ることで、火源を強めます。

夏は燃えすぎると火事になりますので、水性と金性です。そのうえで火源の木性を求めます。

秋から冬にかけては火源の木性と、木性を刈り取る金性です。弱すぎる丁火には火性も必要です。

丁火：守護神　：　守護神は左から第一、第二、第三守護神の順番です。
午月生まれ　：　守護神は　壬水　庚金　甲木

壬　　調候（癒し）の第一守護神　父、配偶者、名誉、資格

壬水は大河に悠々と流れる水や湖水とみます。
水は力強く流れていれば清いのです。

陽壬　海湖—交通を意味する
方位は北方、色は黒色、夜をイメージさせる色。
自然界の事象に置き換えて大河、大海、海原、人工的な水
陽の水性で海、湖を表します。水は流れますので「流動」とい
う言葉で表します。流動は海流からきています。すべて一定のも
のがなく常に何か動いています。対象が流動するのです。
壬水は流動する気の象徴です。

辛　　調候の第二守護神　社交における愛情、お金

辛金は加工された優しい貴金属とみます。
指輪とか貴金属のように宝石の象徴です。

陰辛　宝石—宝石など宝物すべてを含む
方位は西方、色は白色、または淡白（薄い白色）
自然界の事象に置き換えて小石、砂利、貴石、軟金
辛金は金属としては柔らかいのですが、鋭い宝石という質があ
り、「従鋭」という言葉で表します。宝石の気は特別意識、美意
識という気をもたらします。積極的な気です。
辛金は無形の世界を自然淘汰する気の象徴です。

甲　　調候の第三守護神　母、母性愛

甲木は山や大地に聳え立つ大木（樹木）とみます。
大きく育った大木は庚金（斧）を用いて伐採し、役に立つ棟梁の
材と成すことです。

陽甲　樹木—建築など食料以外の用材

方位は東方、色は青色、春の樹木が持つ青々とした青緑色
(古代の中国では青色は植物が持つ色でした。)

自然界の事象に置き換えて樹木、巨木、大木。

樹木は真っ直ぐ伸びるので動きを「直」といいます。真っ直ぐな気です。気は先へ先へと進みます。

甲木は命の象徴を表します。

■後天運守護神■

丁火：守護神　：　守護神は左から第一、第二、第三守護神の順番です。

午月生まれ　：　守護神は　壬水　庚金　甲木

後天運　壬、癸、亥、子の年は、世の中の注目を集める運氣です。

後天運　甲、乙、寅、卯の年は、目上の引き立てを得て運気の動きがスムーズです。

後天運　庚、辛、申、酉の年は、バランスをとりながら宿命が稼動する運氣です。

■忌神■

丁火：忌神

午月生まれ　：　忌神は　火性（丙火　丁火）　土性（戊土　己土）

後天運　丙、丁、巳、午の年は、運気の動きが滞りがちです。

後天運　戊、己、丑、辰、未、戌の年は、運気の動きが滞りがちです。

■極■ 極は、運勢のポイントをにぎっており、扇の要に相当します。

午 生月中殺：家系の援助を離れて宿命が稼働します。

■天中殺■

■午未天中殺■ 午未(6月、7月) 午年、未年

- ・ 午未天中殺 南方中殺世界といい、細木数子女史の六星占星術では、火星人と説かれているようです。

- ・ 本質：義。
- ・ 役目：物事の推進力、前進力。
- ・ 場所：運命を共にするものとの共同の場。
- ・ 方法：有形。

現実的世界で前進することを役目として与えられており、補佐役、二人三脚の同志を得ることが大切である。新しい世界を作り、理想を構築するために常に前進し、その中で自己の役目が消化されていく。自己の心の中から発した現実的理想郷を作り出すことが役目として与えられている。家系の流れの末代に生まれやすく、家系の最終段階として何らかの結果を作り出していくこととなる。未来より自分の代で何らかの形成をなそうとする。そのために、子供縁が薄く、跡取りは自分の仕事の継承者となりにくい。目上上司の引き立て強く、初年運、中年運の人が多く。子孫、後輩、子供の生き方に対しての心の広さが問われる世界であります。

続け、自分の影響力を発揮することで運が稼働し、役目を発揮する。

◆ 大運天中殺の大運（9歳から40年間）

運命が動き出すときのきっかけが他人の助言、アドバイスがヒントとなる。運が動き出すとき、頼まれごとから動きだし、頼まれごとを断ると運が空回りする。頼まれごとに乗っかるような動きの中で、つむじ風に舞い上がるような運の動きとなる。

◆ 晩年運の大運（徳寿運）

人生は細く長くたんと生きていくことに良さがあ、若い時は悩みが多い。長命であるが、もし短命に終われば家族構成（環境）に原因があり、家族の中で一人勝ちするような生きかた、成功者がいる。家族の在り方は自分にとって環境の一つであって、環境は運命を大きく左右する要因の一つである。

28歳まで大運年支の向退気が巡ります。

財を得るための現実的仕事に対する意識がうすい選択をします。精神的な面で良さが出、精神的な職業で能力を発揮するようになります。

29歳から大運年支の向進気が巡ります。

社交性、仕事に対する意識が徐々に現れ、現実的に財を得る方向性、仕事に良さが出ます。財を得るための現実的職業で力を発揮する要素があります。

18歳まで大運日支の向退気が巡ります。

実りを求める意識は弱まり、結果に執着しない意識の運です。遺産相続の問題がでて、親の財産に執着しない方が良いです。家庭的なものに気持ちを注ぐ意識が弱く、結婚運が延び延びとなりがちで、結婚がなかなか決まりにくい。男性は家庭に負担をかける人生となり、家庭に対して精神的なものを打ち出した方がよく、家や財産を作ると、配偶者に負担をかける動きとなります。

29歳から大運日支の向進気が巡ります。

人生で結果を出すことにこだわり、実りを求めて生きようとする選択をします。自分の家庭を守る意識が強く、遺産相続の問題がでたとき、親の財産にこだわる判断をします。

- ： 開運の運氣。宿命が稼働する運氣。
- ： 閉運の運氣。内側を充実させる運氣。
- △： 平運の運氣。内に対しても、外に対してもバランスよく過ごせる運氣。
- ： 大運天中殺の運勢
- ◎： 大運天中殺的運勢

旬 | 歳 | 干支 | 主星 | 従星 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 天中殺 | 天中殺現象 | 変剋律 |

初 | 9 | 乙巳 | 龍高 | 天将 | 虚納音 冲 | | | | 天中殺現象 | |

9 歳からの 10 年運

大 生 生 生
運 日 月 年

乙 〇 〇 〇
巳 〇 〇 〇

自分の存在を周りに否定された感覚に陥る。目上、上司、親との矛盾を感じる。これら
のことがきっかけで、将来、親元を離れて孤独からの出発をしようとする意識が芽生える。

人生の出会いにおいて、一生、人との新しい出会いは、相手と自分の違い、矛盾を感覚
的に把握したところから思考、想念するようになる。

自分と真逆の人との出会いが多い。目上に引き立てられるが、自分の思いを理解しても
らえないことが多い。周りからは評価され、運のよい状況に見られる。運気のシーソー現
象が現れ、自分と周囲の人の中で、自分が評価される時誰かの運が下降する。自分が評
価されないとき、周りに幸運の人が現れる。

【第 1 旬大運と日干支虚気納音】

周囲の人間関係の想念に振り回される中で、現実逃避、今までと異
なる世界への想いが動き出す。

第一旬干支虚気納音は、運気の陰転現象が現れ、一般に本人または
両親の運気が落ち込む現象が現れやすい。

自分が生まれてきた環境と、自分の本質が異質とを感じる状況が生ま
れる。そのことによって、身内、周囲に心を開けなくなります。孤立
した意識のなかで自分を奮い立たせる為に、家庭の外、世の中に向か
って自分の場所を捜そうとする意識が芽生える。そして、世の中に出
てから、人生を駆け足で渡るような生き方となるきっかけが生ずる運
気です。

(※ 虚気：実態のない、間接的に世の中と関わる世界)

【日支】と【対沖】の位相法が成立しています。物事の実りに対して動く気です。

実りを淘汰する運気が回っています。実り、実績と決別したくなる場合があります。

実りの中から、選りすぐれたものだけを取り出す運気です。

新しい動きをする場合は、実りと決別する運気となります。今までと違った、全く新しい動きとなります。転職する場合、今までのキャリアを活かせない動きとなります。若い頃は良いでしょうが、年取ってから転職で、この星が回っている時、新しい仕事は、今までの仕事を活かさない分野の仕事になります。今までの実りと決別する転職です。今までの仕事を活かそうとすると、仲々仕事が決まりません。過去と決別したくなる運気が回っていることを表しています。

今までの生き方を終結させる時のみ使える後天運です。

● 大運天中殺的運勢

働き盛りの頃に大運天中殺が回ると、急激な運気の稼働があります。がむしゃらな努力から、世の中で注目される流れに入ったら、その流れに任せて、自己主張し過ぎないことで、運気が上昇します。

物事の結果が、自分の意志とは異なる方向になって現れる運気です。周りの意志をくみ取って、自分の選択をすると、運が開きます。

幼少期の大運天中殺は、スポーツの世界で陽転します。平凡な幼少期を過ごすと、陰転しやすく病弱となりやすい。

○ 大運異常干支の運勢

大運異常干支は、環境（大運）に異常な状況と縁が出来ます。環境に普通の状況を求めると異常な状況（本人の人間性や体調）が生まれ、環境が異常な状況（ガムシャラに生きる環境や、一つの世界にこだわった環境など）にあると、普通の精神性でいられる。となります。

運気に異常性が生まれて、極端に運気が上がったり、下がったりします。

この大運は、ある意味神がかり的な運気です。この異常干支大運が明けると普通に帰りますので、それまでと同じ生き方をすると、運勢

の落ち込みがあります。

何らかの状況変化で、何かに取りつかれたような動きのなかで、運気に変化がおとづれます。

○ 生氣干支の大運

人に助けられたり、人を助けたりする中で運が稼働する。平穏な運の動きとなる。細く長く長期戦的視野で気楽に世の中と向き合い、ダラダラと消化する。人から尊敬されやすい。

自分の力量とは無関係に家族や身近な存在が応援してくれる運です。人に担がれるような人間性が形成されていることが望ましい。

◆ 乙・龍高星 前半5年：○ 開運

■ 竜高星後天運の運勢の特徴 ■

改革、改良という問題を意識させられる運勢です。

精神的世界との縁があり、自分を変革させるために何かを始めようとする意識が動く傾向にあります。

目上、上司、先輩の思わぬ援助を受けたり、年輩、年上の方との縁を得やすい運勢です。

吉作用

現象 独学、創造、独創。周囲の期待、目上の援助。
学べる世界。精神世界と縁ができる。

凶作用

現象 放浪。投げやり。依頼心。流される。逃避、逃走。

《伴》 生氣干支の大運で守護神

自分に従ってくれる「真の仲間」を得る。理解者を得て、人と和合しながら開運に向かう。人間性が高い人ほど開運に向かう。

○ 救神の後天運

平凡に生きられる運氣です。

世の中で注目され、評価を得やすい運氣ですが、自分の中に満足感を得られない運氣です。

【前中殺：前半5年】大運天中殺から刺激を受ける5年間

運氣に大きな変化、環境からの影響を受けることが大きいです。

この期間の大運が守護神なら世の中の注目を受ける方向で大きな変化が現れ、忌神なら世の中から疎外される方向で大きな変化が現れる現象となりやすいです。

◆ 巳・天将星 後半5年：□ 閉運

■天将星後天運の運勢の特徴■

世の中に対して自立し、強く生きねばならない運氣です。
世の中、社会と関わることを強く求められる運氣です。
人より抜きん出ようとする願望が強い運氣です。

《反》 生气干支の大運で忌神

人の言うことの反対側、裏側から物事を見るとよい。うまい話に裏がある。うまい話に乗ると裏切られる。最後に反乱にあいやすい。

○ 調候の忌み（苦勞試練をとまなう）神・後天運

心から楽しんで動ける運氣ではありません。仕事として、役目として、ある意味しかたなく、人のために生きる運氣です。

自分の希望、願望を優先すると、人生の壁にぶつかります。

自分が好んでいない世界、仕事、役目において、周りの評価があります。世の中で、目立たない生き方をしている人に評価されます。

自分より周りの人を生かすことが、役目として回っている運氣です。

内面、内側、自分が係わる組織の内側を充実させる運氣でもあります。

【伏中殺：中程5年】大運天中殺の勢いが持続している5年間

大運天中殺の大きな変化が静まっている期間であります。

大運天中殺の真中は伏中殺。安定期である。

大運天中殺の勢いのみが持続します。

旬 | 歳 | 干支 | 主星 | 従星 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 天中殺 | 天中殺現象 | 変剋律 |

2 | 19 | 甲辰 | 玉堂 | 天堂 | | | 对冲 | | | 天中殺現象 | |

19 歳からの 10 年運

大 生 生 生
運 日 月 年

甲 〇 〇 〇
辰 〇 〇 〇

母親との縁が深い運氣です。しかし、親の矛盾のみを意識する。また、自分中の思考も、出会った人との矛盾を感じてから動き出す。

目上との価値観、目的の異なる人との出会いが多い運勢です。

親との関係で矛盾を感じる。親の運氣に波乱、運氣のブレーキ、ストップが現れやすい。

面倒見の良い母性的な異性に好かれやすい。自分が好きになる異性に対して両親が反対しやすい。両親の意向と矛盾する異性が現れやすい。

親と距離を置いた場所で無一文から出発すると、親の運氣のストップは生じない。本人の運勢に急激な稼働が始まる。目上、上司、統率者に運氣の入れ替わりの縁を引き寄せる。自分がかかわった組織の上司の運が入れ替わる縁が多い。

● 大運天中殺的運勢

働き盛りの頃に大運天中殺が回ると、急激な運氣の稼働があります。がむしゃらな努力から、世の中で注目される流れに入ったら、その流れに任せて、自己主張し過ぎないことで、運氣が上昇します。物事の結果が、自分の意志とは異なる方向になって現れる運氣です。周りの意志をくみ取って、自分の選択をすると、運が開きます。

【大運と年干支虚気納音】

両親の死去、離婚、目上の引退、独立、離別など、運命の岐路、局面において現れる現象です。

あるいは、親、目上に対する精神的反目、反抗として現れます。

親自身も周囲の家族関係や仕事関係で振り回されることがあります。

(※ 虚気：芸能界など実態のない、間接的に世の中と関わる世界)

親、組織の統率者の運気に停滞、ストップとなる現象と縁がある運氣です。組織においては、上司、統率者が入れ替わる縁があり、以前の上司と正反対の方向性を持つ人との縁が生じる運氣です。

自分の社交、前進力に歯止めをかけられる運勢が巡っていることを現しています。なかなか外へ伸びきれない運勢です。自分の置かれている背景を持続することには適している運勢です。

目上、親、先祖に対する考え方、意識が 180 度変換、入れ替わる運氣です。社交（仕事や社会的）の人間関係に、それまでと異なる人との縁が現れます。そして、人間関係の広がり狭まる運です。

目上、周りの状況に振り回されないようにすることが大切です。

【年支】と【対沖】の位相法が成立しています。物事の初めに動く気です。

自らの行動による新規の動きの時、目上の援助が得られない運氣です。新しい出発は、今までの目上との決別を意味します。

目上の援助、応援を求めて新規に動くことは、ストップしなさい。という運氣です。自分から動いたことは、壁にぶつかります。自ら動くな。ということです。やめざるを得ない場合、会社が倒産した等の場合は、目上との決別が成立しますので、転職等の新しい動きが成り立ちます。その場合、内勤の仕事、外回りでない仕事、営業的でない仕事で転職を捜すと、勤め先での仕事がスムーズに進みます。営業、外回り、外への拡大は収縮し、障害となる運氣です。

○ 専気干支の大運

エネルギーをある一定の方向に集中して消化しようとし、烈しい生き方をする。自力運で人の助けが少ない。自分の力量と環境が不一致な条件と遭遇しやすく、空回りしやすい。無駄なエネルギーを使い要領が悪い。

自分と環境がマッチしない中で物事が空回りしやすい。自分にふさわしい環境に遭遇しにくい運です。

◆ 甲・玉堂星 前半5年：○ 開運

■玉堂星後天運の運勢の特徴■

知性、知恵の上昇、意識の高まりを意識させられる運勢です。
母、上司、先生、師匠との縁を意識させられる運勢です。
精神的世界、学びの世界との縁がある運勢です。

吉作用

現象 創作、習得。良き師に会う。直属、身近な目上の援助。
学ぼうとする。

凶作用

現象 依頼心、依存心。周囲の期待から来るプレッシャー。

《用》 専気干支の大運で守護神

瞬間的に集中してエネルギーを燃焼する。体力の消耗が知らず知らずに衰える。燃焼が激しいので力の配分を調整することを心がけると良い。

○ 救神の後天運

平凡に生きられる運氣です。

世の中で注目され、評価を得やすい運氣ですが、自分の中に満足感を得られない運氣です。

【伏中殺：中程5年】大運天中殺の勢いが持続している5年間

大運天中殺の大きな変化が静まっている期間であります。

大運天中殺の真中は伏中殺。安定期である。

大運天中殺の勢いのみが持続します。

◆ 辰・天堂星 後半5年：□ 閉運

■ 天堂星後天運の運勢の特徴 ■

世の中に対して一步退いた気持ちで対応しようとする意識が強まる
運気です。

《要》 専気干支の大運で忌神

修行、準備の運です。社会の裏側、物事の裏側で、要（かなめ）の存在としての役目が
稼働する運です。

○ 宿命の忌み神（苦勞試練をとまなう）・後天運

自分の想いをスムーズに受け入れてくれない環境と縁がある運気です。

宿命を稼働させにくい運気です。黙々と役目を果たす運気です。

自分の内面、内側、内部、内側の組織、家庭を充実させていく運気
です。淡々と役目を果たしていく運気です。

若い頃に回っている場合は、自分の役目、方向性を決める運気です。

【后中殺：後半5年】大運天中殺のはみ出した気が収縮する5年間

大運天中殺の積極的に動いて運気からはみ出した部分が、この
后中殺期間にもとに戻ろうとする気が働きます。

大運天中殺の最後は、まとめる方向で動かなくてはなりません。
分離、拡大、拡散は、禍となります。まとめる。縮小する。
引退する。退く。などの方向で動く気は、大運天中殺のまとめる
動きで、天が味方します。

旬 | 歳 | 干支 | 主星 | 従星 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 天中殺 | 天中殺現象 | 変剋律 |

3 | 29 | 癸卯 | 車騎 | 天胡 | 半会 | | | 支合 | | 天中殺現象 | |

29 歳からの 10 年運

大 生 生 生
運 日 月 年

癸 〇 〇 〇
卯 〇 〇 〇

29 歳を境に大きな変化が現れる。すべてが自分の思うような方向に周りを巻き込みたくなり、巻き込んでいく。

組織、家系、友人、部下から相談を持ち込まれやすい。これらの立て直しか、不満からの離別となりやすい。人のためと思うと立て直しとなり、自己にこだわるとトラブルメーカーとなる。

立て直しと完成を交互に繰り返す運気です。急激な運勢の稼働が始まる。人の紹介で動くときは、時間をかけバランスの取れた完成を目指す。自らの意思で動くときは、慎重に事を進めようとするが、組織、部下、家系、生家（実家）、住居、同僚、兄弟姉妹のいずれかでトラブルが生じやすい。物事を進めるとき、人の紹介で進めるとよい。

結婚は、立て直しの仕事をしている人が良い。

■ 後天運再建格 ■

急激な運勢稼働が生ずる。

波乱、動乱となる場合か、何かに向かってがむしゃらに動きだそうとする運気である。この運勢は平凡な人生が歩めない。渦を巻くように運気が動き出す。立て直しに向かうと星が陽転し、世の中の必要な存在者となる。自己中心の動きをすると、トラブルメーカーとなり、世の中の迷惑者となる。

■ 後天運完全格（二象格） ■

世の中が自分中心に回るように動き、周りのことを考えるほど運勢が稼働する。

理想主義となりやすく、物事が完結するにはどうしたらよいかを意識するほど、世の中が自分を必要とする運となる。

● 大運天中殺的運勢

働き盛りの頃に大運天中殺が回ると、急激な運気の稼働があります。がむしゃらな努力から、世の中で注目される流れに入ったら、その流れに任せて、自己主張し過ぎないことで、運気が上昇します。

物事の結果が、自分の意志とは異なる方向になって現れる運気です。周りの意志をくみ取って、自分の選択をすると、運が開きます。

【大運と年干・干支相連】

親、目上を優先した動きとなる運勢です。

親、年上、目上、上司と和合する運気です。

親、年上、目上、上司と関わる事象が現れる運気です。

【年支】と【融合】の位相法が成立しています。物事の初めに動く気です。

支合または半会の和合の気が大運で回っています。自分から新しいことを打ち出す。新しいことを始める。自分で仕事を捜すなど、自ら動き出すことで、運気の動きがあります。新しい事を始めようとするとき、理解者、協力者、賛同者を得やすい運気です。

外の人間関係に広がりが見えます。

新規出発に広がりが見えます。

着実に一歩ずつ進む選択です。

【日支】と【融合】の位相法が成立しています。物事の裏りに対して動く気です。

人の紹介、評価、協力者を得て運気が稼働します。自分から新しく

動いた仕事などではありません。必ず、人の紹介によって運気が動きます。ヘッドハンティングや派遣会社の紹介などは、【日支】が和合する時の転職です。

人の紹介による人間関係に広がりが見えます。

内容を充実させることに広がりが見えます。

広がり運気となります。最初は不安定な要素がありますが、長く続けることで、運気の上昇があります。目的、方向性が決まると、半会場の気が稼働します。方針、方向性、目的を決めるとよいです。

○ 生氣干支の大運

人に助けられたり、人を助けたりする中で運が稼働する。平穏な運の動きとなる。細く長く長期戦的視野で気楽に世の中と向き合い、ダラダラと消化する。人から尊敬されやすい。

自分の力量とは無関係に家族や身近な存在が応援してくれる運です。人に担がれるような人間性が形成されていることが望ましい。

◆ 癸・車騎星 前半5年：○ 開運

■ 車騎星後天運の運勢の特徴 ■

争い、戦い、前進力という問題を意識させられる運勢が回っています。

動乱的環境に縁があり、物事の局面で右か左かの選択を迫られる縁があります。じっとしている環境は自分をイライラさせることがあります。

吉作用

現象 大胆な行動が評価される。行動で現す。
女性は異性を引きつける。結婚する。

凶作用

現象 淘汰される。けじめを求められる。自分を責める。

《伴》 生氣干支の大運で守護神

自分に従ってくれる「真の仲間」を得る。理解者を得て、人と和合しながら開運に向かう。人間性が高い人ほど開運に向かう。

○ 調候（運命稼働と魂のバランスを取る）の守護神・後天運

良きにつけ、悪しきにつけ、世の中の注目を集める運氣です。

宿命のバランスを取らされる運氣です。

自分の生き方が、本心からの動きであれば、世の中で評価を得ます。

自分の生き方が、建前からの動きであれば、世の中で淘汰されます。

自分自身の本質に対して、自分のあり方が問われる運氣です。

調候の守護神は、自分の中の内なる神、本音の魂が、自分自身に対して誠実であるかどうかを問うてきます。

心の本音、本心が、魂の安らぎ、癒しの場所を求めて心が動き、行動に現れ、現実化する運氣です。

隠れたもの（病気等）が表に現われることがあります。

○ 調和（運命を稼働させようとする）の守護神・後天運

世の中に対して、積極的に関わることで運気が稼働します。

宿命のバランスを取らされる運気です。

バランス、役目、使命感を意識するなかで、宿命が稼働する運気です。

役目、使命感を意識する行為が、周囲の評価を得ます。

自分が世の中に対して積極的に関わることで運気が稼働します。

外に向かって自分を打ち出す運気です。

【前中殺：前半5年】大運天中殺から刺激を受ける5年間

運気に大きな変化、環境からの影響を受けることが大きいです。

この期間の大運が守護神なら世の中の注目を受ける方向で大きな変化が現れ、忌神なら世の中から疎外される方向で大きな変化が現れる現象となりやすいです。

◆ 卯・天胡星 後半5年：○ 開運

■天胡星後天運の運勢の特徴■

未来、将来の方向性を見据えようとする意識が強まる運氣です。
将来の結果を予測しようとする意識が稼動する運氣です。

《伴》 生气干支の大運で守護神

自分に従ってくれる「真の仲間」を得る。理解者を得て、人と和合しながら開運に向かう。人間性が高い人ほど開運に向かう。

○ 再建格の守護神・後天運

壊すか建て直しの運です。

問題ある部分の建て直しという視点で行動する時、世の中が評価する運氣です。

本人の内面が、安定、自己保身に走る時、自分の運命が壊れていく現象が現れます。問題ある部分を増幅し、トラブルメーカーの運氣となります。

改革、改造、解体、破壊、修復、修正、浄化、完成と縁がある運氣です。

【伏中殺：中程5年】大運天中殺の勢いが持続している5年間

大運天中殺の大きな変化が静まっている期間であります。

大運天中殺の真中は伏中殺。安定期である。

大運天中殺の勢いのみが持続します。

旬 | 歳 | 干支 | 主星 | 従星 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 天中殺 | 天中殺現象 | 変剋律 |

4 | 39 | 壬寅 | 牽牛 | 天極 | 支合 | 半会 | 大半 | | 天中殺現象 | |

39 歳からの 10 年運

大 生 生 生
運 日 月 年

壬 〇 〇 〇
寅 〇 〇 〇

夫婦間で孤独を感じる運です。

夫が極端に忙しい状態は、吉です。夫、統率者、上司、父親の立て直しの運です。夫が社会的に立て直しの仕事をしていると、普通の主婦をします。そして、夫を応援する動きとなります。配偶者、統率者、名誉の立て直しかトラブルとなりやすい。既婚者は夫が多忙で家を留守にしがちである。親と同居していると、父の運気に乱れが生ずる。

物事の起承転結が短時間に置きる。思ったことに対する現象がすぐに現れる。

自分が仕事をしている場合、大きな広がりが生ずる。運気の評価の拡大。社交において広がりのある運気です。

■ 後天運再建格 ■

急激な運勢稼働が生ずる。

波乱、動乱となる場合か、何かに向かってがむしゃらに動きだそうとする運気である。この運勢は平凡な人生が歩めない。渦を巻くように運気が動き出す。立て直しに向かうと星が陽転し、世の中の必要な存在者となる。自己中心の動きをすると、トラブルメーカーとなり、世の中の迷惑者となる。

● 大運天中殺的運勢

働き盛りの頃に大運天中殺が回ると、急激な運気の稼働があります。

がむしゃらな努力から、世の中で注目される流れに入ったら、その流れに任せて、自己主張し過ぎないことで、運気が上昇します。

物事の結果が、自分の意志とは異なる方向になって現れる運気です。周りの意志をくみ取って、自分の選択をすると、運が開きます。

【大運と年干支大半会】

親の運気の影響を大きく受け取る運気です。

親の運気の影響によって、運気の動きが速くなり、忙しい状況が生まれる運気です。

仕事が大きく広がっていくことを現しています。仕事が拡大していくことを現しています。

仕事や社会に対して、自分の前進力が拡大していくことを現しています。

【年支】と【融合】の位相法が成立しています。物事の初めに動く気です。

支合または半会の和合の気が大運で回っています。自分から新しいことを打ち出す。新しいことを始める。自分で仕事を捜すなど、自ら動き出すことで、運気の動きがあります。新しい事を始めようとするとき、理解者、協力者、賛同者を得やすい運気です。

外の間人間関係に広がりが見えます。新規出発に広がりが見えます。

【月支】と【融合】の位相法が成立しています。物事の過程で動く気です。

ものごとの過程、継続中のことを広げること、拡大することに協力者を得られる運気です。今やっていることを広げること、充実させることに意識を向けるとき、運気の稼働があります。

もし、転職する場合は、親族、親戚の縁を通して捜すか、自分一人で仕事を始める場合のみ、運の道が開けます。

住居、家系、組織、内面を充実させようとしている運気が回っています。

組織の間人間関係に広がりが見えます。現在進行形の内容に広がりが見えます。

【三合会局】

運気の転回が激しい動きです。物事の起承転結、結果がすぐに現れやすい運気です。ガムシャラな動きは勇み足となりやすいです。しっかりした目的を持ち、冷静な判断が必要となります。

願ったことがすぐにかなう運気の動きです。今まであり方の結果が現れる運気です。

【大運と日干・干合】

自分が、家庭の外に出た状況で、感情が、ちょっとした環境の変化で振り回される運氣です。

配偶者、異性との縁が深い運氣です。配偶者にこだわる運氣です。

自分の意識、価値観に変化が生まれる状況に縁がある運氣です。

【大運と日干・干支相連】

世の中と協調する運氣です。

家庭の外の世界と関わることで、自分の意識、価値観が変化しやすい運勢です。

配偶者に関わることで、配偶者を意識する運氣です。

自分か、配偶者にこだわる運氣です。身内、内面を充実させていく運勢です。

【日支】と【融合】の位相法が成立しています。物事の裏りに対して動く気です。

人の紹介、評価、協力者を得て運氣が稼働します。自分から新しく動いた仕事などではありません。必ず、人の紹介によって運氣が動きます。ヘッドハンティングや派遣会社の紹介などは、【日支】が和合する時の転職です。

人の紹介による人間関係に広がりが見えます。

内容を充実させることに広がりが見えます。着実に一歩ずつ進む選択です。

【大運と宿命二重干合】

環境や世の中、周りの人間関係に感情が振り回される。

心の動揺が大きいと、運勢の振幅が起こる。

配偶者に振り回される現象か、配偶者が振り回される現象が生ずる。

精神的に孤独感を感じる運氣である。

○ 生氣干支の大運

人に助けられたり、人を助けたりする中で運が稼働する。平穏な運の動きとなる。細く長く長期戦的視野で気楽に世の中と向き合い、ダラダラと消化する。人から尊敬されやすい。

自分の力量とは無関係に家族や身近な存在が応援してくれる運です。人に担がれるような人間性が形成されていることが望ましい。

◆ 壬・牽牛星 前半5年：○ 開運

■ 牽牛星後天運の運勢の特徴 ■

自分の立場という問題がクローズアップされます。
立場にこだわって運勢が動く傾向にあります。
女性は家庭、結婚、異性、夫の問題ということに縁があります。
格式、一つの形を得ようと意識することで、行動しようとする気が動き始めることとなります。

吉作用

現象 世の中に評価される。名誉得る。
女性は異性を引きつける。結婚する。

凶作用

現象 批判される。失脚する。

《伴》 生氣干支の大運で守護神

自分に従ってくれる「真の仲間」を得る。理解者を得て、人と和合しながら開運に向かう。人間性が高い人ほど開運に向かう。

○ 調候（運命稼働と魂のバランスを取る）の守護神・後天運

良きにつけ、悪しきにつけ、世の中の注目を集める運氣です。
宿命のバランスを取らされる運氣です。
自分の生き方が、本心からの動きであれば、世の中で評価を得ます。
自分の生き方が、建前からの動きであれば、世の中で淘汰されます。
自分自身の本質に対して、自分のあり方が問われる運氣です。
調候の守護神は、自分の中の内なる神、本音の魂が、自分自身に対して誠実であるかどうかを問うてきます。
心の本音、本心が、魂の安らぎ、癒しの場所を求めて心が動き、行動に現れ、現実化する運氣です。
隠れたもの（病気等）が表に現われることがあります。

○ 調和（運命を稼働させようとする）の守護神・後天運

世の中に対して、積極的に関わることで運気が稼働します。

宿命のバランスを取らされる運気です。

バランス、役目、使命感を意識するなかで、宿命が稼働する運気です。

役目、使命感を意識する行為が、周囲の評価を得ます。

自分が世の中に対して積極的に関わることで運気が稼働します。

外に向かって自分を打ち出す運気です。

【伏中殺：中程5年】大運天中殺の勢いが持続している5年間

大運天中殺の大きな変化が静まっている期間であります。

大運天中殺の真中は伏中殺。安定期である。

大運天中殺の勢いのみが持続します。

◆ 寅・天極星 後半5年：○ 開運

■天極星後天運の運勢の特徴■

現実性より精神的な価値観、判断を優先する意識が稼動する運気です。

ご先祖や亡くなった方のことが取りざたされやすい運気です。

《伴》 生氣干支の大運で守護神

自分に従ってくれる「真の仲間」を得る。理解者を得て、人と和合しながら開運に向かう。人間性が高い人ほど開運に向かう。

○ 再建格の守護神・後天運

壊すか建て直しの運です。

問題ある部分の建て直しという視点で行動する時、世の中が評価する運気です。

本人の内面が、安定、自己保身に走る時、自分の運命が壊れていく現象が現れます。問題ある部分を増幅し、トラブルメーカーの運気となります。

改革、改造、解体、破壊、修復、修正、浄化、完成と縁がある運気です。

【后中殺：後半5年】大運天中殺のはみ出した気が収縮する5年間

大運天中殺の積極的に動いて運気からはみ出した部分が、この后中殺期間にもとに戻ろうとする気が働きます。

大運天中殺の最後は、まとめる方向で動かなくてはなりません。分離、拡大、拡散は、禍となります。まとめる。縮小する。引退する。退く。などの方向で動く気は、大運天中殺のまとめる動きで、天が味方します。

旬 | 歳 | 干支 | 主星 | 従星 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 天中殺 | 天中殺現象 | 変剋律 |

5 | 49 | 辛丑 | 禄存 | 天庫 | | 害 | 庫刑 | | | |

49 歳からの 10 年運

大 生 生 生
運 日 月 年

辛 〇 〇 〇
丑 〇 〇 〇

外見上の運気は良好ですが、更年期が現れ、体調不良から精神的不安定になりやすい。この現象は 39 歳から兆しが表れており、生涯続く動きです。人の想念に振り回されやすく、自分の本質が見えなくなりやすい。周りから過大に評価されやすく、そのことに戸惑う。うまい話に踊らされやすい。冷静でいることが大切です。

生来の霊媒体質であるため、靈感として消化すると良い。唯物論で生きていると精神的に苦勞する。神棚等を祭り、友達のように触れ合うと靈感となって消化する。しかし、配偶者に理解してもらうことに苦勞する。夫婦ともに信仰心の篤い者同士で結婚していることが望ましい。

既婚者は、夫に理解してもらえない感覚から、孤独にさせやすい。会話が必要です。夫を孤独にさせると、夫は自分の知らない世界へ逃避行しやすい。信仰心、純粋に神々の加護（霊能者に頼るのではなく）を求めるとよい。

陰口を言うと、その人との縁が切れていく。世の中と自分の価値観の違いに戸惑い、ストレスを抱えると体調の不安定となりやすい。人の生き方を認めて受け入れないスタンスでいるとよい。

【大運と月干・干合】

社会、世の中の中に対する意識が変化し、世のなかと向き合う運です。

仕事や社会への価値観、考え方、見方を変え、家系、職場、身内、自分自身の次元を上昇させることを役目として与えられている運気です。

自分が生きてきた人生、仕事、家庭、社会観の影響を受け、意識、思考がいろいろと変化します。そのため、世の中、社会に対する見方

が変容します。

月干と大運の干合は、世の中、社会、子供、夫の仕事による影響を受けて感情が不安定となりやすい運氣です。

更年期が始まり、体調の衰えを感じ、感情が不安定となりやすい。

子供の変化（病気など）で、自分の世の中に対する意識が変化することもあります。

【守護神虚気透干】

他人を幸せにすることがテーマの運勢です。他者の幸せのために生きると、世の中で必要とされ、幸運に恵まれます。自らの幸せのために生きると、人間関係で振り回されます。

【宿命虚気大半会】

本人の環境の変化、価値観の変化、自分に起きた大きな環境変化の後、運命の岐路、選択の後、忙しい状況が生まれます。

本人の生活範囲を大きく拡大させられる状況が生まれます。

足元を見失いがちになります。

冷静な判断と、時に応じて拡大路線の使い分けが必要な運氣です。

拡大しすぎて、走りすぎると、足元を見失って現実を見ない、足元をすくわれることがあります。

仕事、実業の世界で大きな実績、財運を掴むと、手放さなければならぬ時期が、年数をへて後、訪れる。

外見上運氣が大きく広がるが、実質の営利が伴わない場合が多い。

（※ 虚気：実態のない、間接的に世の中と関わる世界）

【大運と月干・干支相破】

生きていく土台が世の中から影響を受け、社会と関わっていく運氣です。

男性は、社会、仕事、家系との縁で、矛盾ある部分が深まる運氣です。

女性は、夫の仕事、身内、家族、親族、子供との縁で、矛盾ある部分が深まる運氣です。

家族、親族の矛盾、偽善的部分が表に現れる運氣です。

子供、身内、親族、家系にこだわり、これらとの関係で振り回されやすい運勢です。

子供、身内、親族、家系に対する意識を、距離を置く客観的意識に

なることによって、矛盾、問題点を修正していく運勢です。

世の中に対する視野の広さを求められる運勢です。

【年支】と【刑】の位相法が成立しています。物事の初めに動く気です。

新規に動いた環境では、新しい人間関係において、二枚舌の人と縁ができてしまう運気です。裏表のある環境と縁があります。自分が仕事以外で、趣味のサークルや、グループを作ると（二つの世界と関わっていると）二つの世界を自分で消化するので、裏表の人間関係は、現象化しません。

【刑】は二つの組織（グループ）と縁を持つと消化します。

【月支】と【害】の位相法が成立しています。物事の過程で動く気です。

自分が生きていく上で、土台としていることに対して、価値観、考え方の合わない、自分と違う次元の人との縁がある運気です。

この運気が回っているとき、職場や親族、身内で、いろんな意見が出るという運気です。賛成意見、反対意見、賛否両論です。この運気の時、職場や住居の移動をすると、価値観の合わない人、次元の違う人、住む世界が違う人と縁がある運気となります。

健康に注意を要する運気です。思わぬ病が表面化することがあります。

○ 生氣干支の大運

人に助けられたり、人を助けたりする中で運が稼働する。平穏な運の動きとなる。細く長く長期戦的視野で気楽に世の中と向き合い、ダラダラと消化する。人から尊敬されやすい。

自分の力量とは無関係に家族や身近な存在が応援してくれる運です。人に担がれるような人間性が形成されていることが望ましい。

◆ 辛・禄存星 前半5年：○ 開運

■ 禄存星後天運の運勢の特徴 ■

行動における自己顕示の意識を動かされる運勢が回っています。
財、父、愛というテーマと縁があり、自分が係わる人を活かそう、
活用しよう、役に立とうと意識する時、運勢が動く傾向にあります。

吉作用

現象 世の中の信頼を得る。家庭を持つ。
経済力、世のため人のために働く。人気上がる。

凶作用

現象 だまされる。人に甘い。金儲けを考える。無責任。

《伴》 生氣干支の大運で守護神

自分に従ってくれる「真の仲間」を得る。理解者を得て、人と和合しながら開運に向かう。人間性が高い人ほど開運に向かう。

○ 救神の後天運（第二守護神）

宿命が稼働する運気です。本人が努力した分だけ宿命が稼働します。
世の中で注目され、評価を得やすい運気ですが、自分の中に満足感
を得られない運気です。

◆ 丑・天庫星 後半5年：□ 閉運

■天庫星後天運の運勢の特徴■

墓守りの星が回っています。古い過去、先祖との縁ができる星です。
一途に何かに取り組む意識が稼働しやすい運氣です。
後継、跡取りの出来事を引き寄せる運氣です。

《反》 生氣干支の大運で忌神

人の言うことの反対側、裏側から物事を見るとよい。うまい話に裏がある。うまい話に乗ると裏切られる。最後に反乱にあいやすい。

○ 季節（運命稼働と魂のバランスを取る）の守護神・後天運

宿命が稼働する運氣です。本人の努力によって開運する運氣です。
季節の守護神は、運氣に粘り強さがあり、土壇場での強さがあります。
土壇場に追い込まれても踏ん張ろうとします。
外に向かって、努力によって開運する運氣です。

○ 宿命の忌み神（苦勞試練をとמונau）・後天運

自分の想いをスムーズに受け入れてくれない環境と縁がある運氣です。
宿命を稼働させにくい運氣です。黙々と役目を果たす運氣です。
自分の内面、内側、内部、内側の組織、家庭を充実させていく運氣
です。淡々と役目を果たしていく運氣です。
若い頃に回っている場合は、自分の役目、方向性を決める運氣です。

旬 | 歳 | 干支 | 主星 | 従星 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 天中殺 | 天中殺現象 | 変剋律 |

6 | 59 | 庚子 | 司禄 | 天馳 | | 天剋 | | | | 変剋律 |

59 歳からの 10 年運

大 生 生 生
運 日 月 年

庚 〇 〇 〇
子 〇 〇 〇

現実の運、周りから見た目の運は良好です。しかし、本人の内面は、いろんな想念が通り過ぎる器となります。

異常に異次元とシンクロしやすく、体力を消耗しやすい。地位、名誉、財に意識が向かうと、自分の本質が見えなくなる。与えられた霊的啓示受信者であると自覚したほうが生きやすい。

現実の人間関係では、いろんな人の想念に振り回され、周囲の意見は常に変転しており、一貫性がない。本人の想念も一貫したものを貫けない。地位、名誉、財にこだわる生き方をしていた場合、情緒不安定、精神不安定となりやすい。人の想念は常に変化していると達観した境地が望ましい。これまでの人生で霊的世界にかかわった生き方をしていた場合、優れた霊能力を発揮する人となり、カリスマ性が現れる。

○ 大運異常干支の運勢

大運異常干支は、環境（大運）に異常な状況と縁が出来ます。環境に普通の状況を求めると異常な状況（本人の人間性や体調）が生まれ、環境が異常な状況（ガムシヤラに生きる環境や、一つの世界にこだわった環境など）にあると、普通の精神性でいられる。となります。

運気に異常性が生まれて、極端に運気が上がったたり、下がったりします。

この大運は、ある意味神がかり的な運気です。この異常干支大運が明けると普通に帰りますので、それまでと同じ生き方をすると、運勢の落ち込みがあります。

何らかの状況変化で、何かに取りつかれたような動きのなかで、運気に変化が訪れます。

【大運と月干支天剋地冲】

仕事、生き方を見なおす運気です。第一線から退く事もあります。今までの生き方の必要な部分と、不必要な部分を振り分け、淘汰、選別して、自分の次元を上げる運気です。

【月支】と【対冲】の位相法が成立しています。物事の過程で動く気です。

仕事、生き方、職場、住居など、生きていく上で、自分が土台と意識している事に、淘汰の現象が現われる運気です。

この運気が回っているとき事業拡大すると、淘汰の運気が、その方針について行けなくて、辞めていく社員が現われます。

この運気は、内容、内面、質を淘汰して、必要なものだけを残し、不必要なものを排除し、質を高める運気です。

【大運と宿命二層干合】

環境や社会および、取り巻きの人間の想念に無意識が翻弄される。

心の動揺が大きいと、運命の振幅の幅が大きい。

自分または家族の運命の波に振り回される現象が生ずる。

見た目だけ運気が大きく見える。中身が伴わず大きな運勢現象が現れる。大きな仕事を成している錯覚に陥りやすい。内面の充実、実利をしっかりと押え、自分を大きく見せないと、運命の振幅の幅も小さい。

自分を取り巻く人間に利用されやすい。

自分または配偶者が精神的に孤独と感じる運気である。

○ 生氣干支の大運

人に助けられたり、人を助けたりする中で運が稼働する。平穏な運の動きとなる。細く長く長期戦的視野で気楽に世の中と向き合い、ダラダラと消化する。人から尊敬されやすい。自分の力量とは無関係に家族や身近な存在が応援してくれる運です。人に担がれるような人間性が形成されていることが望ましい。

◆ 庚・司禄星 前半5年：○ 開運

■ 司禄星後天運の運勢の特徴 ■

自分に付き従う人々との縁が深くなる運勢です。一般的には家族、会社経営者なら社員まで含まれます。つまり、一門一族の人々との縁が深い運勢が回っていることをあわらしています。

身近な人を大事にしようと意識する時運勢が動き始めます。家庭、妻、結婚に係わる縁があります。

吉作用

現象 準備する。意識が家庭に向かう。家庭を持つ。
着実。庶民的で信頼される。常識。金儲けがうまい。人気。

凶作用

現象 しつこい。貪り、物惜しみ。こだわる。執着。

《伴》 生氣干支の大運で守護神

自分に従ってくれる「真の仲間」を得る。理解者を得て、人と和合しながら開運に向かう。人間性が高い人ほど開運に向かう。

○ 救神の後天運（第二守護神）

宿命が稼働する運気です。本人が努力した分だけ宿命が稼働します。

世の中で注目され、評価を得やすい運気ですが、自分の中に満足感を得られない運気です。

◆ 子・天馳星 後半5年：○ 開運

■天馳星後天運の運勢の特徴■

瞬間的ヒラメキの中で物事が展開する運氣です。

《伴》 生氣干支の大運で守護神

自分に従ってくれる「真の仲間」を得る。理解者を得て、人と和合しながら開運に向かう。人間性が高い人ほど開運に向かう。

○ 調候（運命稼働と魂のバランスを取る）の守護神・後天運

良きにつけ、悪しきにつけ、世の中の注目を集める運氣です。

宿命のバランスを取らされる運氣です。

自分の生き方が、本心からの動きであれば、世の中で評価を得ます。

自分の生き方が、建前からの動きであれば、世の中で淘汰されます。

自分自身の本質に対して、自分のあり方が問われる運氣です。

調候の守護神は、自分の中の内なる神、本音の魂が、自分自身に対して誠実であるかどうかを問うてきます。

心の本音、本心が、魂の安らぎ、癒しの場所を求めて心が動き、行動に現れ、現実化する運氣です。

隠れたもの（病気等）が表に現われることがあります。

○ 調和（運命を稼働させようとする）の守護神・後天運

世の中に対して、積極的に関わることで運氣が稼働します。

宿命のバランスを取らされる運氣です。

バランス、役目、使命感を意識するなかで、宿命が稼働する運氣です。

役目、使命感を意識する行為が、周囲の評価を得ます。

自分が世の中に対して積極的に関わることで運氣が稼働します。

外に向かって自分を打ち出す運氣です。

○ 季節（運命稼働と魂のバランスを取る）の守護神・後天運

宿命が稼働する運氣です。本人の努力によって開運する運氣です。

季節の守護神は、運氣に粘り強さがあり、土壇場での強さがあります。
土壇場に追い込まれても踏ん張ろうとします。

外に向かって、努力によって開運する運氣です。

【大運と宿命二層干合】

環境や社会および、取り巻きの人間の想念に無意識が翻弄される。

心の動揺が大きいと、運命の振幅の幅が大きい。

自分または家族の運命の波に振り回される現象が生ずる。

見た目だけ運気が大きく見える。中身が伴わず大きな運勢現象が現れる。大きな仕事を成している錯覚に陥りやすい。内面の充実、実利をしっかりと押え、自分を大きく見せないと、運命の振幅の幅も小さい。

自分を取り巻く人間に利用されやすい。

自分または配偶者が精神的に孤独と感じる運気である。

【日支】と【刑】の位相法が成立しています。物事の裏に対して動く気です。

仕事の実績に、裏で悪口を言われやすい運気です。正当に実績、評価を得られない運気です。

面と向かって批評せず、裏でこそこそ批判されます。

自分の評価、人に対する評価を正当に判断できない運気です。

○ 逆気干支の大運

運気の変動変化が大きく、人生の目的が最初と異なる方向へ変化する。自力運で運が荒れる。自力で確実に運をつかもうとする。

努力の積み重ねによって開運します。努力によって信頼を重ねる運ですが、気苦勞、心が疲れやすい運です。

◆ 己・鳳閣星 前半5年：□ 閉運

■鳳閣星後天運の運勢の特徴■

部下、後輩、子供を縁として自然な成り行きに任せる意識が動く時、未来を意識させられます。

冷静な目で物事を見ようとする時、運勢が動く傾向にあります。

精神的な世界との縁があり、表現、伝達の世界との縁があります。

吉作用

現象 精神世界と縁を持つ。芸術、表現の世界と関わろうとする。
無理をしない。子供、未来、子供との縁。後継者。

凶作用

現象 健康に関する問題。病気。子供の問題。後継者の問題。

《得》 逆気干支の大運で忌神

努力に応じて運が稼働し、しつこいくらい何度も繰り返し、物事に立ち向かうことで運をつかむ動きです。積極的努力型の運です。

○ 宿命の忌み神（苦勞試練をとまなう）・後天運

自分の想いをスムーズに受け入れてくれない環境と縁がある運氣です。

宿命を稼働させにくい運氣です。黙々と役目を果たす運氣です。

自分の内面、内側、内部、内側の組織、家庭を充実させていく運氣です。淡々と役目を果たしていく運氣です。

若い頃に回っている場合は、自分の役目、方向性を決める運氣です。

◆ 亥・天報星 後半5年：○ 開運

■天報星後天運の運勢の特徴■

この運氣において、発想の転換、価値観の転換に出会います。
自分の考え方、人生観が大きく変化する運氣です。

《徳》 逆気干支の大運で守護神

人間性が高いほど運が自分に近づいて来る。邑楽かな性格であると、運が黙っていても入ってくる。中庸、バランスが取れた意識が運を引き寄せる。

○ 調候（運命稼働と魂のバランスを取る）の守護神・後天運

良きにつけ、悪しきにつけ、世の中の注目を集める運氣です。
宿命のバランスを取らされる運氣です。

自分の生き方が、本心からの動きであれば、世の中で評価を得ます。
自分の生き方が、建前からの動きであれば、世の中で淘汰されます。
自分自身の本質に対して、自分のあり方が問われる運氣です。

調候の守護神は、自分の中の内なる神、本音の魂が、自分自身に対して誠実であるかどうかを問うてきます。

心の本音、本心が、魂の安らぎ、癒しの場所を求めて心が動き、行動に現れ、現実化する運氣です。

隠れたもの（病気等）が表に現われることがあります。

○ 調和（運命を稼働させようとする）の守護神・後天運

世の中に対して、積極的に関わることで運氣が稼働します。
宿命のバランスを取らされる運氣です。

バランス、役目、使命感を意識するなかで、宿命が稼働する運氣です。
役目、使命感を意識する行為が、周囲の評価を得ます。

自分が世の中に対して積極的に関わることで運氣が稼働します。
外に向かって自分を打ち出す運氣です。

○ 季節（運命稼働と魂のバランスを取る）の守護神・後天運

宿命が稼働する運氣です。本人の努力によって開運する運氣です。

季節の守護神は、運氣に粘り強さがあり、土壇場での強さがあります。
土壇場に追い込まれても踏ん張ろうとします。

外に向かって、努力によって開運する運氣です。

旬 | 歳 | 干支 | 主星 | 従星 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 天中殺 | 天中殺現象 | 変剋律 |

8 | 79 | 戊戌 | 調舒 | 天印 | | 半会 | 比和 | | | 変剋律 |

79 歳からの 10 年運

大 生 生 生
運 日 月 年

戊 〇 〇 〇
戊 〇 〇 〇

パワースポットに縁があります。

子供、未来、特定の部下、後継者に意識が向かう。エネルギーがこれらに集まる。良くも悪くも集まる。未来に伝え、見守る運勢です。

○ 大運異常干支の運勢

大運異常干支は、環境（大運）に異常な状況と縁が出来ます。環境に普通の状況を求めると異常な状況（本人の人間性や体調）が生まれ、環境が異常な状況（ガムシヤラに生きる環境や、一つの世界にこだわった環境など）にあると、普通の精神性でいられる。となります。

運気に異常性が生まれて、極端に運気が上がったり、下がったりします。

この大運は、ある意味神がかり的な運気です。この異常干支大運が明けると普通に戻りますので、それまでと同じ生き方をすると、運勢の落ち込みがあります。

何らかの状況変化で、何かに取りつかれたような動きのなかで、運気に変化がおとづれます。

【月支】と【対沖】の位相法が成立しています。物事の過程で動く気です。

仕事、生き方、職場、住居など、生きていく上で、自分が土台と意

識している事に、淘汰の現象が現われる運氣です。

この運氣が回っているとき事業拡大すると、淘汰の運氣が、その方針について行けなくて、辞めていく社員が現われます。

この運氣は、内容、内面、質を淘汰して、必要なものだけを残し、不必要なものを排除し、質を高める運氣です。

○ 専気干支の大運

エネルギーをある一定の方向に集中して消化しようとし、烈しい生き方をする。自力運で人の助けが少ない。自分の力量と環境が不一致な条件と遭遇しやすく、空回りしやすい。無駄なエネルギーを使い要領が悪い。

自分と環境がマッチしない中で物事が空回りしやすい。自分にふさわしい環境に遭遇しにくい運です。

◆ 戊・調舒星 前半5年：□ 閉運

■ 調舒星後天運の運勢の特徴 ■

自分を見つめることを意識させられ、自己主張したくなる運勢が回っています。

子供、個人的付き合いの部下、限定された部下との縁があります。精神的な世界との縁があり、一人で表現する伝達の世界と縁があります。

吉作用

現象 真理、本質と向き合う。自己表現の世界。
学術、芸術等の、精神世界との縁。

凶作用

現象 孤独になる。神経質になる。世の中に対する反抗心。

《要》 専気干支の大運で忌神

修行、準備の運です。社会の裏側、物事の裏側で、要（かなめ）の存在としての役目が稼働する運です。

○ 宿命の忌み神（苦勞試練をともなう）・後天運

自分の想いをスムーズに受け入れてくれない環境と縁がある運氣です。

宿命を稼働させにくい運氣です。黙々と役目を果たす運氣です。

自分の内面、内側、内部、内側の組織、家庭を充実させていく運氣です。淡々と役目を果たしていく運氣です。

若い頃に回っている場合は、自分の役目、方向性を決める運氣です。

◆ 戌・天印星 後半5年：□ 閉運

■天印星後天運の運勢の特徴■

粘り強く、無理のない運気の動きです。

先祖の恩徳があり、平和な家庭に育った人ほど、人に好かれ、人に可愛がられ、人柄の良さを見込まれて道が開く運です。

《要》 専気干支の大運で忌神

修行、準備の運です。社会の裏側、物事の裏側で、要（かなめ）の存在としての役目が稼働する運です。

○ 宿命の忌み神（苦勞試練をとまなう）・後天運

自分の想いをスムーズに受け入れてくれない環境と縁がある運気です。

宿命を稼働させにくい運気です。黙々と役目を果たす運気です。

自分の内面、内側、内部、内側の組織、家庭を充実させていく運気です。淡々と役目を果たしていく運気です。

若い頃に回っている場合は、自分の役目、方向性を決める運気です。

◆総合アドバイス◆

○守護神で物事を始めること○

算命学は、運命の予防学医学であります。悪い事を未然に防ぐ事が算命学であります。

ここで、注意しなければならないことは、算命学が示す技法によって自分の人生を選択しないということです。星の意味によって人生を決めるような事をしてはいけません。自分の本心が納得する選択、行動をとらなければならないということでもあります。それが、星の意味とつながっているのです。

守護神は、自分の宿命（魂の本心）通り生きやすい時です。忌神は、自分の宿命（魂の本心）通りに生き難い時です。守護神が回ってきたら、今、自分は本心通り生きているか、と自分に問うように考えて行動することが大切であります。後天運の中で忌神（閉運）が回るときは、黙々と、日常の与えられた役目、仕事を果たすことが大切であります。守護神（開運）が回るときは、自分がこの世に生まれてきた役目を果たしやすい時であります。そして、物事の起点（新しい出発）においては、天干（甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸のことです。）に自分の守護神が回るときに始めると、役目が消化しやすい運氣となり、幸運に恵まれる運氣となります。

位相法（支合、半会、冲動、刑、害）がめぐるときは、人間関係の問題がついて回ります。支合、半会は人間関係のまとまり、冲動、刑、害は人間関係の離反現象が現れます。位相法は、その時の一過性現象ですので、離反現象にとらわれないことが大切です。ただし、新規出発において位相法が成立すると、その現象が、新しく出発したことについて回ります。ですから、新しい出発においては、支合、半会のまとまりが付いて回る時が望ましいとなります。

新しい起点において、全ての条件がそろふことは難しいことであり、役目を簡単に消化しようとする意志が働くこととなります。地支における守護神ですが、宿命に対して反発（冲動、刑、害の離反現象）が生じることがあります。人間関係の苦労の上に役目を消化することが与えられているといえます。

天中殺は、あせりや寂しさから決断してしまうときです。魂の本心から離れて、その時の感情から決断してしまいやすいときです。自らの意志で決断してはいけません。

世の中の価値観、世間体、体裁で判断、選択しないで、宿命（魂の本心）通り生きることが心がけることが大切です。そして、それが自分のためであります。エゴは、満たされなかった愛情の欠乏を満たそうとする感情であり、魂の本心ではありません。エゴと魂の本心は次元の異なる自分の一面です。魂の本心は、真我。エゴは劣等感の裏返しのようなものです。真我は、自分が本当に好きな感情、心がリラックスしていられたり、楽しくしていただける感情です。自分も人も幸せに導く対象、感情、選択が、真我の選択です。

調候の守護神

生命の躍動を感じられる後天運。新しい出発は守護神で始めると良い方向へ行きます。
庚、辛、壬、癸、甲、乙の年、月、日 および申、酉、亥、子、寅、卯の年、月、日

調和の守護神

宿命が稼働し役目が稼働する後天運
壬、癸、亥、子の年、月、日

忌神

運勢の動きが滞る後天運
天干：丙、丁、戊、己の年、月、日。 地支：丑、辰、巳、午、未、戌の年、月、日

救神

五行の気が循環するため、平凡に生きられる後天運
天干：甲、乙の年、月、日。 地支：寅、卯の年、月、日

救神

本人の満足は別として回りから見とめられる後天運
第二、第三守護神の甲、乙、寅、卯、庚、辛、申、酉の年、月、日

職業における新しい出発を始めて良い後天運

守護神が回る壬、癸、甲、乙の後天運
年支支合半会の地支：寅、卯が回る年、月、日

今ある仕事を広げて良い後天運

守護神、救神が回る庚、辛、壬、癸、甲、乙の後天運
月支支合半会の地支：寅、未、戌が回る年、月、日

目上の引立て、紹介によって動く後天運

目上の星および、守護神が回る壬、癸、甲、乙の後天運
日支支合半会の地支：寅、卯、未が回る年、月、日

新しい動きを抑えた方が良い後天運

忌神が回る後天運 丙、丁、戊、己の年、月、日
地支冲動および天中殺：子、辰、巳、午、未が回る年、月、日
(自分から動いたものでない限り、問題にする必要はありません。)

★★★★★ 年毎のエネルギーの分布(誕生日時点の年齢と西年暦) ★★★★★

歳	西年暦	干支	総エネルギー
1	1983	癸亥	533
2	1984	甲子	488
3	1985	乙丑	586
4	1986	丙寅	582
5	1987	丁卯	507
6	1988	戊辰	618
7	1989	己巳	647
8	1990	庚午	605
9	1991	辛未	646
10	1992	壬申	618
11	1993	癸酉	536
12	1994	甲戌	614
13	1995	乙亥	540
14	1996	丙子	518
15	1997	丁丑	613
16	1998	戊寅	614
17	1999	己卯	534
18	2000	庚辰	636
19	2001	辛巳	626
20	2002	壬午	597
21	2003	癸未	628
22	2004	甲申	592
23	2005	乙酉	525
24	2006	丙戌	613
25	2007	丁亥	564
26	2008	戊子	527
27	2009	己丑	617
28	2010	庚寅	606
29	2011	辛卯	434
30	2012	壬辰	536
31	2013	癸巳	530
32	2014	甲午	497

33	2015	乙未	532	*****	
34	2016	丙申	504	*****	
35	2017	丁酉	445	*****	
36	2018	戊戌	511	*****	
37	2019	己亥	474	*****	
38	2020	庚子	436	*****	
39	2021	辛丑	585	*****	
40	2022	壬寅	584	*****	
41	2023	癸卯	511	*****	
42	2024	甲辰	613	*****	
43	2025	乙巳	605	*****	
44	2026	丙午	574	*****	
45	2027	丁未	598	*****	
46	2028	戊申	575	*****	
47	2029	己酉	508	*****	
48	2030	庚戌	578	*****	
49	2031	辛亥	567	*****	
50	2032	壬子	543	*****	
51	2033	癸丑	612	*****	
52	2034	甲寅	587	*****	
53	2035	乙卯	510	*****	
54	2036	丙辰	615	*****	
55	2037	丁巳	611	*****	
56	2038	戊午	584	*****	
57	2039	己未	620	*****	
58	2040	庚申	611	*****	
59	2041	辛酉	471	*****	
60	2042	壬戌	530	*****	
61	2043	癸亥	497	*****	
62	2044	甲子	442	*****	
63	2045	乙丑	517	*****	
64	2046	丙寅	486	*****	
65	2047	丁卯	420	*****	
66	2048	戊辰	522	*****	
67	2049	己巳	522	*****	
68	2050	庚午	485	*****	

69	2051	辛未	566	*****	
70	2052	壬申	567	*****	
71	2053	癸酉	501	*****	
72	2054	甲戌	553	*****	
73	2055	乙亥	514	*****	
74	2056	丙子	474	*****	
75	2057	丁丑	555	*****	
76	2058	戊寅	524	*****	
77	2059	己卯	459	*****	
78	2060	庚辰	559	*****	
79	2061	辛巳	626	*****	
80	2062	壬午	605	*****	
81	2063	癸未	623	*****	
82	2064	甲申	601	*****	
83	2065	乙酉	531	*****	
84	2066	丙戌	600	*****	
85	2067	丁亥	545	*****	
86	2068	戊子	507	*****	
87	2069	己丑	598	*****	
88	2070	庚寅	572	*****	
89	2071	辛卯	444	*****	
90	2072	壬辰	543	*****	
91	2073	癸巳	553	*****	
92	2074	甲午	528	*****	
93	2075	乙未	554	*****	
94	2076	丙申	547	*****	
95	2077	丁酉	500	*****	
96	2078	戊戌	544	*****	
97	2079	己亥	496	*****	
98	2080	庚子	460	*****	
99	2081	辛丑	604	*****	

最大値	7 才	647	*****	
平均値		551		
最小値	65 才	420	*****	

エネルギーが平均値【551】より高い年運は、その年の役目、しなければならぬと思うことが多いことを表しています。

エネルギーが平均値【551】より低い年運は、自分のなすことが空回りしやすいことを表しています。ほどほどの行動、がんばり過ぎない行動を心がけると良いでしょう。

□天中殺□

■午未天中殺■ 午未(6月、7月) 午年、未年

■大運天中殺■

大運天中殺は9歳から20年間の大運天中殺です。

大運天中殺は29歳から20年間、反復する大運天中殺です。

後天運20年間天中殺に入る宿命の人。運気の枠がはずれている時間帯が20年間続くことを表しています。極端に成功したり、極端に失敗する傾向にあります。

親元や、保護者のいる環境の中では、運気の蓋がなされたような形となり、その現象が大きく出ることが少なくなります。また、大きな組織に入っている場合も、運気の蓋がなされたような形となり、精神世界で昇華しようとする場合もあります。

女性の場合、結婚してると夫が蓋の存在となり、大運天中殺現象が夫に移行しがちです。そして、夫が急激に運勢が上昇したりします。

運気の枠がないため、物質世界を追求すると際限なく努力することができ、大財を成したり、満足することがなく欲求を追求することによって、大きく運気が一方に偏ることになります。

この期間に運勢を稼働させるには、自分を押しえ込む存在がないことと、体力があることです。自分を押しえ込む存在がないと、がむしゃらに頑張るようになって、運勢が稼働するようになります。

ところが、精神の世界に入ると現実的な運勢の伸びが現れなくなります。それは、精神の世界は際限がなく無限であり、精神の世界で極端を極めようとするからであります。

大運天中殺は、枠がないため極端に走る結果になります。そして、大きく成功したり、大きく失敗したりする可能性があります。成功するか失敗するかは、宿命の星を消化しているかどうかによって反映されることとなります。

天中殺は、積極的なもの、陽的なものにその現象が現れるため、運気や生き方が積極的であるほどその現象が顕著に現れることとなります。よって、親、目上に大運天中殺の現象が現れることによって、本人に現れない場合があります。

大運天中殺は日本経済でいうとバブル経済のようなものです。見た

目が大きく中身が空のようなものです。大運天中殺の終わりにバブルがはじけるような現象が現れることになります。

【大運天中殺 20 年間の動き】

【前中殺】大運天中殺の最初の 5 年間

運気に大きな変化、環境からの影響を受けることが大きいです。親元にいると、親、目上、上司、年上の兄弟、姉妹に変化が現れて、本人に出ない場合があります。

この期間に、結婚、自立、独立をすると、本人に大きな変化が現れるようになります。

この期間の大運が守護神なら世の中の注目を受ける方向で大きな変化が現れ、忌神なら世の中から疎外される方向で大きな変化が現れる現象となりやすいです。

「孤独」になることは大運天中殺が陽転します。「孤」「離」の現象を生ずるものは、大運天中殺の陽転となります。故郷を離れる。離婚する。親元を離れる等です。

【伏中殺】大運天中殺の、真ん中の 10 年間

大運天中殺の大きな変化が静まっている期間であります。この期間は、結婚、自立、独立しても、前中殺ほど大きな変化は現れない傾向にあります。

ただし、事業で大きく成功した場合は、最後の 5 年間に入る伏中殺期間中に第一線を退いて運気の積極性をおさえることによって禍をおさえるようになります。

大運天中殺の真中は伏中殺。安定期である。結婚をするのに伏中殺を選べば、禍は少ない。しかし、天中殺の影響は無くはない。受け身で、相手からの申し出を受ける形なら良い。いろんな人がいる。それは仕方が無い。結婚しなければならぬ時に大運天中殺になるのは、親のせいである。与えられたものなので仕方がない。天中殺は、自分から見て、相手から見て、良い面、悪い面がある。

「今私は大運天中殺だから、どうぞあなたから結婚を申し込んで下さい」と言うものでもない。天中殺中の男性と、天中殺中でない女性が結婚する場合、どちらが不運かと言うと、天中殺中でない女性である。

【后中殺】大運天中殺の最後の5年間

大運天中殺の大きくはみ出した運気を本来の姿に戻そうとする現象が現れてきます。大財を成すと大運天中殺前の財運まで戻ろうとする現象が現れます。運気が落ち込んでいた場合は立ち直ろうとする傾向にあります。

大運天中殺の積極的に動いて運気からはみ出した部分が、この后中殺期間にもとに戻ろうとする気が働きます。よって、積極的でない生き方をすることによって、その現象を抑えることができます。第一線を退いたり、引退したり、後進に席を譲る等がそれにあてはまります。

大運天中殺の最後は、まとめる方向で動かなくてはなりません。分離、拡大、拡散は、禍となります。まとめる。縮小する。引退する。退く。などの方向で動く気は大運天中殺のまとめる動きとなります。

【晩年大運天中殺】晩年に大運天中殺が回る場合

(晩年に大運天中殺は回っていません。)

晩年に大運天中殺が回ってくる場合、徳のある人と言われ、枠のない運気は天とつながり、往生すると言われています。

よって、晩年に大運天中殺が回る場合、あまり気にする必要はありません。

子供や環境の状況、流れにしたがって生活することで、消化できる運勢です。

【大運天中殺の心構え】

大運天中殺は、物事の切っ掛けを掴むとき、その人が受け身にあります。受け身にあるというのは、誰かが話した内容、誰かのアドバイスを受け取る場所から、それを素材として自分を活用しようとするとき、運勢が稼働を始めます。

たとえば、『君は人を喜ばすおもしろいことを言うね、お笑い芸人になったらおもしろいだろうなあ。』と言われるなかで、自分の適職が見えたりします。

常にヒントが外にあり、人から受け取るなかで、自分を活かす素質が見えてきます。

ですから、『海外旅行や危険だから危ないよ』と言われたら、安全な国でも、避けた方が良いでしょう。ということになります。

大運天中殺で、仕事の運気が伸びているときは、与えられた仕事を全てこなそうとすると、運気がどんどん伸びます。この大運天中殺中の運気の伸びは、大運天中殺が終わる最後の6年前まで続きます。大運天中殺に入って16年目から、運気が急激にストップします。ここで、それまでと同じように仕事をしようとしても、仕事が来なくなるため、焦りからジタバタして墓穴を掘ってしまいます。

もし、大運天中殺で、運気が急激に飛躍した人は、最後の5年は、終息の運気です。算命学では、引退ないし、一步退く、第一線から一步、二歩、後退することで、大きな落ち込みを抑えることができる、となっています。

- ・ 他人のアドバイスから物事を始めるヒントを得る。
- ・ 他者の進めるものから物事を始めるヒントを得る。
- ・ 物事の新しい出発の原点が受け身から出発する。

大運天中殺の改良法は二つあります。

一つは、親の恩恵の預からないところでがむしゃらに働く。そして、飛躍的に運勢を伸ばしていく生き方が一つ。このような生き方は、芸能人に多いです。

もう一つは、精神的世界、学問の世界、精神を飛躍的に高める世界とかかわる方法です。

どちらでもない、普通の生き方、中途半端な生き方になる時、運勢や肉体にかたよりが生まれて、病気になったりしてしまいます。この場合、親元にいるとか、大きな会社に属しているなど、自分の外側に対して蓋をされているような環境においては、現実の現象としての、運気の落ち込みはなくなります。ただ、無形の精神性を求める意識のみが稼働して精神的不安感を感じやすくなります。

大運天中殺は、枠のない無制限、無限の中に活かされている運勢であるため、自分のなかの片寄っている気が、無限の方向に引っ張られていく要素があります。そのため、普通の生き方をしていると、病気や禍となる可能性が生じるのであります。

よって、大運天中殺を乗りきる方法として、運勢が下降している場合、精神的飛躍の世界へ意識を向けることで、運勢を乗りきることが可能であります。

大運天中殺は、そのまま受け入れる事。大切なのは、今大運天中殺の最中だと言う自覚を持つ事。その結果、受身でいる事が大切であります。そして、学習、学ぶ世界において最大の利点となります。

■天中殺の心がまえ■

人間この世に生まれてくると誰でも天中殺という時期があります。年では10年目ごとに2年間、月では1年に2ヶ月間回ってきます。

この天中殺期間は、天の助けが空回りする運氣です。人の助けも空回りし、自力でしたことも、結果として実りの方向へ向かいにくい。

天中殺間に起こした事業、引越し、就職、結婚等の新しく出発したことについて、その内容が現実的、物質的である限り、いつか問題が生じて消滅してしまう。出産においてもあまり良くありません。

この天中殺期間は、運氣の枠がはずされる期間とします。そのため、自分の運氣の膿（うみ）や、毒を吐き出す期間でもあります。人の心に置き換えると、箍（たが）が外れた行動をとりやすいということになります。心は不安定になりがちで、それがかえって、天中殺期間でないときよりも心の焦りから、何かと始めたくなる。その結果は無になってしまう。天中殺を空気のないところでマッチを擦るようなものと表現した人もいます。天中殺期間の多少の禍は、本人の運氣の膿を吐き出す作用として、良しとしなくてはけません。

この災いを避けるためには、すべてにおいて受動的にで、自分の気を内側に向け、出過ぎぬことが肝心であります。精神的にあせることなく、物事を運ばない気持ちで行動すると、天中殺の禍を避けることができます。禍を徳に転化させるために、周囲の人をご馳走したりすることによって、財における禍の消化の方法とすることもあります。

運氣には陰陽があって、陰陽を呼吸におきかえると、天中殺期間は、本人にとって運氣の枠がないため、天の気を吸い込む陰の期間とします。気を吸い込んでいるときは、むやみに動けるものではありません。運氣を休ませることが大切であります。

枠がないということは、みずからの心を意識的に外に向かって現実の行動にせず、枠のない無限大の空間の気を受け入れなさいということなのです。

枠が外れていることを、もっとも効果的に活用する方法は、精神で消化することです。なぜなら、精神、心には、枠がないからです。哲学や、精神修養、時に偉大な靈感、直感を獲得することもあるでしょう。

気を吸うとは、気を養うということであり、それはすなわち、心を養うことでもあります。

■運気の改良にもっとも必要なこと！■

算命占星学は象徴言語で書かれています。それを、どうやって運勢に応用するかは、鑑定者および、被験者の判断にゆだねられます。具体的アドバイスが本人になされることはありません。ただ、＜この道とこの道があります。＞と示すだけです。選択するのは本人でなくてはなりません。なぜなら、本人の運命だからです。

運気の改良にもっとも必要なことは、実は単純な心の訓練からなされます。それは、自分の心の本心に正直に向かうことであります。人は、常に、社会や親の価値観に影響されており、自分の本来の姿が見えておりません。

占いも、その選択を鑑定におくと少しもよくなりません。中国占星術算命学は、あなたの運気の要素を書きつづっており、それが、あなたの本心において、”なるほど” というものがなければ、それで選択しても、たとえば、よい方向へ向かっていたとしても持続できないでしょう。

たとえば、占いで適職といわれて、職について成功すると限らないのです。でも、仕事が好きであることは、占いを越えて、その人の心の選択であります。

最後に肝心なのは、動機が純粋であるかであります。

結婚においても同様で、その動機が純粋に相手が好きであるか、晩年の二人の姿がイメージが持てるほど一緒にいたいと思えるかによって、その結婚が持続するか、離婚となるかの分かれ道になります。

運命にとって、自分で決断する。自分で自分の人生に責任を持つ。このことがとても大切で、自信にもつながってきます。そして、動機が純粋に本心とつながると、迷いが消え、運命の神が味方してくれるのです。

運命の神は、人の心の一番奥にいます。

